

ダイセキグループの事業概況

会社名	主な事業内容	分野	リスクの対応
ダイセキ	廃液・廃油・汚泥のリサイクル	廃液・廃油・汚泥のリサイクル	今後長期的な国内製造業の停滞が続いた場合、産業廃棄物処理業の市場も頭打ちになることがリスク。サーキュラーエコノミーを軸とする新しい市場の取り込みを図る。
北陸ダイセキ	廃油のリサイクル、潤滑油等の製造販売		
ダイセキ環境ソリューション	汚染土壌のリサイクル	汚染土壌のリサイクル	土壌汚染調査・処理事業は設備投資が一巡した場合、市場の頭打ちがリスク。収益性向上を課題として取り組む。
ダイセキMCR	廃バッテリーからの鉛リサイクル	鉛のリサイクル	原料である廃鉛バッテリーの違法解体・輸出業者の台頭により安定仕入が課題。排出事業者との直接契約、直接回収を増やし、安定仕入を図る。
システム機工	大型タンク貯蔵施設の洗浄工事及びその付帯工事	大型タンク清掃	化石燃料の需要減による市場縮小がリスク。解体や用途変更に伴う洗浄案件を取り込む。また大型タンクの用途を原油から水素・アンモニアに変更することに伴う洗浄、休廃止に伴う解体前付帯配管設備のピグ洗浄、及び中小型タンクでも固形化や反応等による難易度が高い残渣物の多い工場系タンク洗浄へ事業を拡大する。
グリーンアローズ中部	廃石膏ボードからの石膏リサイクル	石膏ボードのリサイクル	資源リサイクル事業は生産能力(人・設備)がまだ不十分。市場成長性は高いため、安定的な収益基盤を構築して事業規模の拡大を図る。
グリーンアローズ九州	廃石膏ボードからの石膏リサイクル		
ダイセキ環境ソリューション	PCB、バイオディーゼル燃料	その他資源のリサイクル	資源リサイクル事業は生産能力(人・設備)がまだ不十分。市場成長性は高いため、安定的な収益基盤を構築して事業規模の拡大を図る。
杉本商事	一般廃棄物の収集運搬、廃プラスチックのリサイクル		
杉本紙業	古紙のリサイクル		

成長機会の取り込み	社員数 ^{※1} (名)	売上高 ^{※2} (百万円)	営業利益 ^{※2} (百万円)	営業CF (百万円)
<p>カーボンニュートラルの需要を追い風に温室効果ガス排出量の少ない産業廃棄物の中間処理とリサイクルのサービスを展開する。</p> <p>サーキュラーエコノミーへの移行を進めようとする顧客が増えるなか、これまでのリサイクル事業で培った技術と顧客ネットワークを活用し、サーキュラーエコノミーを軸とする新規事業を開発する。</p>	740	38,168	10,577	13,792
<p>カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー、EV化等による国内製造拠点再編の傾向から、市場の拡大が期待できる。</p>	140	19,413	1,810	
<p>既に対応している環境負荷低減に加え、2024年度より廃鉛バッテリー回収時の自社トラック排出のCO₂をJ-クレジットを利用しオフセットすることで、CO₂削減を意識する排出事業者への取引増加を図る。</p>	79	4,053	929	
<p>石油業界で構築した洗浄ノウハウを基に、保守管理を要するプラント全般を対象に、業種を広げて展開していく。</p>	67	3,949	573	
<p>SDGsやESG投資、資源価格高の追い風を受け、資源リサイクル事業は市場成長性が高い。</p>	112	4,736	982	
<p>SDGsやESG投資、資源価格高の追い風を受け、資源リサイクル事業は市場成長性が高い。</p>				

※1 社員数は正社員の人数

※2 ダイセキ環境ソリューショングループの売上高及び営業利益は連結消去後の金額